

私が障害福祉サービス事業所で働くようになった訳



障害福祉サービス事業所で働く前

私は関東短期大学で保育の勉強をしていましたが、その頃は児童養護施設で働きたいという気持ちがありました。

2年生の冬に短期大学の実習で障害者施設に行くことになりました。

今まで障害を抱えた人と接する機会があまりなく、障害者施設のイメージは「重い」「大変」「暗い」などのマイナスなイメージしかありませんでした。

実際に障害者と関わり、生き生きした姿を見て「明るい」「楽しい」「充実」などのプラスの印象に変わりました。

実習後は障害者と関わることに興味を持ち始め、児童養護施設と障害者施設のどちらで働くかで悩みました。

友人・知人に相談したところ、障害者施設で働いてみようと考えました。実習で行った麦の穂の雰囲気が一番良かったので、採用試験に応募し、卒業後の進路が決まりました。



働き始めると

入社後配属されたのは実習した麦の穂ではなく大地という別の事業所でした。

大地の障害者は麦の穂の障害者と比べると障害が重く、たくさんの支援が必要な障害者の人たちでした。

初めどのように障害者（以降ご利用者）と関わっていけばいいのか分かりませんでした。

実習のときとは違い、コミュニケーションがうまく取れなくて大変に感じることもありました。





時間を経るに従いご利用者の伝えたいことが分かったり、片こと言葉が聞き取れたりするようになりました。その時はとても嬉しく感じて以前とは違った楽しさを見つけることができました。

これからの私

大地に配属されてから覚えることがたくさんありました。これからは新しく入社してくる後輩に、きちんと教えられるように、なぜそうするのか、今何をすればいいのかを考えながら働いていこうと思います。また、ご利用者が大地に毎日楽しく来られるように笑顔で接していきたいと思います。そのためには一日一日を大切にして、今まで以上にご利用者を知っていくことが大切だと思います。

所属部署 上司からのひとこと

小林さんとのきっかけは、関東短期大学の障害者施設での実習でした。ハキハキとした対応でとっても良い学生という印象でした。こんなスタッフ（小林さん）と一緒に仕事ができたら楽しいだろうな！そんなことを考えさせられる存在でした。

ある日、小林詩織さんから就職についての連絡がありました。話は「働きたい」というものでした。それは私が望んでいたことなので、「採用！」と言いたかったのですが、やはり、正職員の採用については厳しい試験や面接があります。

すぐに、法人本部の統括マネジャーに「働きたいという人がいる」こと、そして「優秀な人」であることを報告しました。法人もすぐに動いてくれました。間もなく、採用試験や面接等が行われ、思った通り「内定」そして「採用決定」になりました。

障害者への支援は難しいです。特に、コミュニケーションをとることが難しい障害者の気持ちを汲み取ることが難しいです。

小林詩織さんは、なぜか、障害者の気持ちを汲み取ることが上手です。なので、入職して1年経っていませんが、ご利用者がすぐに小林詩織さんの支援を受け入れています。

これからも障害者への支援とはどういうことなのかを勉強していきながら、持ち前の明るさで、仕事を進めてほしいと願っています。

小林詩織（こばやし しおり） 平成6年7月生まれ

関東短期大学 平成27年3月卒業後、平成27年4月1日 社会福祉法人健翔会へ入職
生活支援員として健翔会の運営する生活介護事業所 大地へ配属される。

大地 埼玉県行田市小見 1144-2 TEL: (048)-555-6166